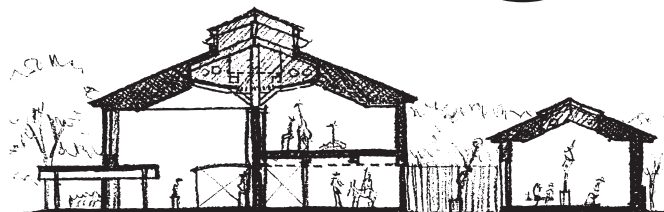




あさご芸術の森美術館
— 淀井敏夫記念館 —

2025/12
第80号

美術館だより
友の会だより



波多野 泉『鼓あるいは盤(追想)』(2004年)／樟・漆／H140×W155×D155cm
第3回あさご芸術の森大賞展(2004年)大賞作品

アジアに古より伝わる^{こばん}鼓や盤を大地に見立て、記憶の風景に、大自然と人の営みの織り成す歴史に思いを馳せ、悠久の時を思う。(制作意図から引用)

ASAAGO BIENNALE 第2回 あさごビエンナーレ2025

大賞は吉村貴子さんの「AWAI」

「第2回あさごビエンナーレ2025」作品展を、9月20日(土)から10月26日(日)まで、あさご芸術の森美術館2階企画展示室で開催しました。

同展は、朝来市などがこれまで行ってきた公募展の第4ステージとして昨年から新たに始まったもので、奇数回は平面作品、偶数回は立体作品の公募としています。今回、立体作品を募集したところ、全国22都道府県の69人から84点の作品が寄せられました。作品の規定サイズをコンパクトにしたことで、過去の公募展の立体作品と比べて、より多様な素材や技法で作られた作品が多かった印象を受けました。

作品審査にあたったのは、橋本善八(世田谷美術館館長)、坂上義太郎(BBプラザ美術館名誉顧問)、牛尾啓三(彫刻家)、永田萌(イラストレーター)の4氏。厳正な審査によって選定された大賞以下、入賞・入選作品32点をあさご芸術の森美術館で展示しました。

大賞に選ばれたのは、吉村貴子さんのガラス作品「AWAI」。審査員からは「清潔感を伴ったすっきりとした佇まいが魅力的」「朝霧の消える一瞬を閉じ込めたような、曇りガラスの風合いが幻想的で美しい」などと評価されました。この作品は当館の所蔵美術品として展覧会終了後も様々な機会^{でつらゆ}で公開してまいります。

また優秀賞には、鐵羅佑さんの鉄の作品「抱き抱える」と三輪陽子さんの陶土と鉄線の作品「トコトコ」が選ばれました。なお大賞と優秀賞の作家は、令和9年度以降、当館での個展開催を予定しています。



大賞／吉村貴子「AWAI」

<制作意図>

手でふれて鑑賞できる「触覚的ガラス」を追求している。やわらかく光を溜めたガラスは目と手を触覚の旅へといざなう。鋳造後のガラスを削って成形し、磨き上げることで半透明で柔らかい質感を創出する。



優秀賞
鐵羅 佑「抱き抱える」

<制作意図>

人の心や感情を最も簡略化した形は円である。この作品は心の繋がりや人の触れ合いを円環状にして表現する。私に義姉ができた。姪が生まれ私は叔父になった。

血ではない縁と新しい血縁。新しくできた大切な家族と絆に幸せを祈る。作品を通して遠く離れた家族や大切な人を想ってほしい。



優秀賞
三輪陽子「トコトコ」

<制作意図>

作品のテーマは「オノマトペ」です。オノマトペは自然界や日常生活の中で生じる音や動きを擬音、擬態語として表現し、感情や状況を豊かに伝える役割を持っています。オノマトペの持つ響きの愛らしさやリズム感を音遊びのように表現しました。

表彰式

第2回あさごビエンナーレ2025の表彰式を、10月26日(日)、あさご芸術の森美術館の展示会場で行いました。賞状授与の後には入賞作家による作品解説会も実施。作品への思いや制作エピソードなどが語られました。



表彰式



ギャラリートーク

第21回 あさご全国こども絵画展 2025

朝来市の誕生とともにスタートした「全国こども絵画選抜展」は、時代の変化に合わせて、第21回目となる今回から少し内容をリニューアルして開催。タイトルを「あさご全国こども絵画展」に改め、子どもたち自身が住んでいるまちや、心の風景など、各々が感じる「ふるさと」をテーマに作品を募集しました。これは子どもたちがふるさとを見つめ、愛着や誇りを持つこと、さらにはふるさとづくりに貢献する心を育むことを目的とするものです。また今回からは、学校や絵画教室といった団体選抜の点数制限をなくし、さらに個人での応募も可としました。

14都府県から1,154点の作品が寄せられ、昨年より若干の減少となったものの、優れた作品がたくさん寄せられました。6人の審査員が、画面構成力や描写力などの基本的な部分に加え、テーマに対する考え方やこどもらしい視点や表現なども考慮しながら慎重に審査し、90点の入賞入選に加え、今回から増設した準入選77点を選定しました。11月1日(土)から30日(日)まで、美術館1階と2階の展示会場で、選ばれた167点を展示しました。「純粋なパワーが圧巻」「それぞれの絵に魂がこもっている」「こどもの発想が面白い」「個性があつてすばらしい」など、たくさんの感想が寄せられました。

最終日の11月30日(日)には、表彰式を開催。家族が見守る中で、賞状を受け取った子どもたちは、とても誇らしげでした。来年も素敵な絵画を期待しています。

〈審査員〉

- 大森梨紗子
(美術作家)
- 椿野 浩二
(平面造形作家)
- 内藤 絹子
(版画家)
- 西山まい美
(染織作家)
- 花房 完昇
(画家)
- 佐々木 博
(平面作家)



ふるさと大賞(文部科学大臣賞)
「思い出の詰まった体育館」
藤田明和音(滋賀県愛荘町立秦荘中学校3年)



ふるさと大賞(文部科学大臣賞)
「きっかけ『まさと』のクリームソーダー」
井藤一永(兵庫県福岡町立田原小学校3年)



審査会風景



表彰式の様子



表彰式の様子

【朝来市内の入賞・入選者】(順不同)

- | | |
|---------------------|---------------|
| ■兵庫県知事賞 | ■森はな賞 |
| 清原 知紗／山口小学校6年 | 野村 桜依／糸井小学校4年 |
| ■あさご芸術の森美術館賞 | ■入選 |
| 藤田 力登／糸井小学校5年 | 宮谷 和花／梁瀬小学校6年 |
| ■(公財)兵庫県園芸・公園協会理事長賞 | 入江 萌悠／糸井小学校6年 |
| 後藤 結衣／大蔵小学校3年 | 森山 翔瑠／大蔵小学校4年 |
| ■あさご芸術の森美術館友の会賞 | 羽瀨 春陽／山口小学校3年 |
| 伊藤 朔／中川小学校5年 | 足立 琴佳／竹田小学校2年 |
| | 高井 憐／梁瀬小学校1年 |

巡回展

- ▶場所
アートホール神戸 **入場無料**
- ▶期間
2026年1月22日(木)～1月27日(火)
- ※会場の都合により上位48点ほどの展示となります。

開催中の
展覧会

アート2026 干支展 午

〈会期〉2026年1月12日(月・祝)まで 〈会場〉2階企画展示室

あさご芸術の森美術館では毎年、新年の干支にちなんだ芸術家たちの作品を展示しています。2026年の干支は「午」「うま」。馬は人や物を運ぶ存在として、人々の願いや思いを乗せ飛躍する縁起のいい動物とされ、「ものごとがうまくいく」という願いも込められています。「左馬」や「逆馬」、「ペガサス」、「ユニコーン」等、古今東西を問わず様々に描かれてきた馬をテーマに、絵画、彫刻、陶芸など現代の作家たちが表現する「午」をお楽しみください。

〔出展者〕(敬称略・50音順)

■平 面

生野学園、大塚温子、貝塚理佐、上地拝碩、工藤恵子、コウノ真理、小西美佐子、佐々木博、島田真衣、高松富士子、椿野彩、椿野浩二、内藤範子、藤原護、藤原洋次郎、Pen²、松尾あい子、松浪吉樹、松本知佳

■立 体

坂口雅彦、佐々木紀政、蟬丸、田中喜典、寺田ひかり、中尾健二、花房さくら、藤本イサム

開催中の
展覧会

2026 干支絵手紙コンクール作品展

〈会期〉2026年1月12日(月・祝)まで

〈会場〉2階企画展示室

「午」「うま」をテーマとしたもの、年賀状にふさわしいものを描いた絵ハガキ作品を募集しました。12月1日に審査を行い、グランプリ以下入賞・入選作品を決定しました。

今年は北海道から大分県まで、18都道府県、139人から、206点の応募がありました。グランプリ作品は4歳の上田茉穂さん(朝来市)の作品で、色と形のバランスがよく子どもらしく表現されて面白い。馬に見えるまでの過程が楽しく、だんだんかわいらしい馬が見えてくる。優秀賞の土永喜代美さん(舞鶴市)の作品は古い書体を使った作品でうまくデザインして表現している。横山葵さん(三田市)の作品は小さい画面の中に色んなものを詰め込んで細やかに構成している、とそれぞれ高い評価を得ました。 ※干支絵手紙コンクールは、応募作品をすべて展示



グランプリ
上田茉穂さん(朝来市)の作品

巡回展示

▶会期…2026年1月15日(木)～1月30日(金) ※月曜日休館

▶会場…生野メインホール ※入賞・入選作品のみ展示します。

開催中の
展覧会

書・上地拝碩 作品展 ～早春によせて～

〈会期〉2026年1月12日(月・祝)まで

〈会場〉1階企画展示室

朝来市市制20周年を記念して市内の作家を取り上げる作品展を順次展開しています。藤本イサム展、宇都宮遼展に続く3回目は、朝来市出身・在住の書家、上地拝碩さんの作品展です。

上地さんは1973年に全日本書道検定試験師範卒業し、生野高校や但馬農業高校で書道を教える一方で、昭和57年からスタートした但馬出身の芸術家で構成する「ドッキングアート」に参加し芸術家としての発表も続けてきました。鳥の子紙に、わらで自作した筆を使い、金銀泥で描く独自の手法で、毎年あさご芸術の森美術館で開催している干支展に大作を発表してきました。朝来市が芸術文化交流しているフランス・バルビゾンのミレー美術館には上地氏の作品が収蔵されています。今回は額装、軸物や屏風など32点の作品を展示しています。



これからの
展覧会

～朝来からの風～朝展2026

〈会期〉2026年1月24日(土)～3月1日(日)

〈会場〉2階企画展示室

朝来市誕生の2005年から毎年開催している朝展(市展)。今回で21回目となります。絵画、書、立体・工芸、写真の4つの部門別に作品を公募し、審査で選ばれた優秀作品を展示します。



朝展2025の会場風景

募集

あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展

〈会期〉2026年2月14日(土)～3月1日(日) 〈会場〉1階企画展示室

あさご芸術の森美術館友の会の会員による、毎年恒例の美術作品展。会員の日ごろの創作活動の成果を披露するとともに、相互の交流を図ることを目的としています。現在、作品を絶賛募集中です。ふるってご参加ください。

■応募要項

◇平面…絵画(日本画・油彩画・アクリル画・水彩画・ミクストメディア・版画・水墨画など)・書・デザイン・写真・俳句・短歌などでオリジナルなもの。

※大きさ: 展示壁面の横幅が一辺120cm×高さ2m以内の空間利用で複数出品可。上下2段掛け展示可。壁面での展示に限る。

◇立体…彫刻・工芸(陶・染織・タペストリー・ガラス・人形・ちぎり絵・木工・竹細工・手芸・編み物・粘土細工ほか)などでオリジナルなもの。生花・盆栽など生物は不可。

※大きさ: 高さ200cm×幅200cm×奥行200cm以内で、人力で運べるものなら複数出品可。 ※壁面展示の場合は、横幅が120cm×高さ2m以内の空間利用。

◇出品料…上記サイズ以内は500円。ただし、直接搬入・搬出ができる出品者で、展示・搬出作業の手伝いが可能な人は無料。 ※作品の損害保険は個人で掛けること。

◇出品申し込み…2026年2月2日(月)まで

◇搬入…2026年2月11日(水)10:00～16:00 / 13日(金)10:00～12:00 ※委託搬入の場合は、2月10日(火)必着。出品者が元払いで送ること。

◇搬出…2026年3月1日(日)16:00～17:00 / 2日(月)9:00～16:00 ※委託搬出の場合は、搬入時に着払い票を添付すること。

これからの
展覧会

淀井彩子展 土地の名・土地の色・土地の時間

〈会期〉2026年3月14日(土)～5月10日(日) 〈会場〉2階企画展示室

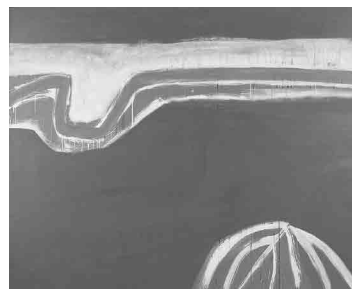
画家・淀井彩子さんの展覧会を開催します。彩子さんは、朝来市出身の彫刻家・淀井敏夫の長女として生まれました。淀井家は敏夫の妻・茂子さんも画家を目指した芸術一家でした。東京藝術大学大学院修了後、フランス留学中に訪れたエジプトの大地を目の当たりにしたことが、彩子さんの画業に大きく影響を与えます。その大地が営んできた時間や記憶等を鮮やかな色彩で表現してきました。一方で、突然訪れた家族との別れを機に、画面がモノクロームへと変容していきました。その後、コロナ禍において社会全体が鬱屈とした中で、「同じように塞ぎこむのではなく、そんな環境だからこそ絵画表現に昇華させていかなければ。」と、現在では本来の色彩を取り戻しています。

今回の展覧会では、淀井彩子の画業を初期から最新作まで幅広く紹介します。

記念講演& 作品解説会

3月29日(日)

※詳細は、決まり次第
朝来市ホームページで
お知らせします。



「なつめやし樹」

1975年 / 油彩、カンヴァス

これからの
展覧会

あさごの小さなフォトグラファー展2026

〈会期〉2026年3月14日(土)～5月10日(日) 〈会場〉1階企画展示室

若い世代が、今や身近になっている「写真」をツールとして芸術を表現する機会とするとともに、その豊かな感性に多くの人々に触れてもらうことをねらいとして、小学生から高校生までを対象とした写真コンテストを行います。写真家の井上浩輝さんに審査していただき、選ばれた入賞入選作品を美術館で展示します。

【作品募集中】

出品は無料。応募締切りは1月31日(土)必着。詳しくは朝来市ホームページ(公式)をご覧ください。あさご芸術の森美術館にお問い合わせください。



NEWS トピックス

ASAGO ART VILLAGE

浮世絵の 楽しみ方講演会

7月27日(日)には、大阪国際大学教授の村田隆志氏を招いて、「浮世絵の楽しみ方—江戸時代のゆたかな芸術世界—」と題してご講演いただきました。それぞれの絵師の特徴や版画にまつわるエピソードなど詳しく楽しく紹介しました。絵師が絵を描き、彫り師が版木を作り、刷り師が版画を完成させるが、彫り師は目が悪くなり、刷り師は奥歯が悪くなるので、いずれも仕事ができる短い期間で一生分を稼いだという。初刷りは絵師が立ち会って制作するので値打ちが高く、後刷りは擦れてきたり、色合いが変わったりするので、値打ちが下がるそうです。理解がより深まった講演後には、再度、噛みしめながら鑑賞する姿もみられました。



出前講座で 淀井作品に挑戦！

朝来市まちづくり出前講座のうち、あさご芸術の森美術館が行うメニューとして「淀井敏夫に挑戦!」があります。

8月5日(土)には、ギャラリー四季彩で、市内の学校関係団体が研修の一環として実施し13人が参加しました。朝来市の彫刻家・藤本イサム氏と美術館学芸員が作品作りを指導。まずは針金で骨組みを作り、麻ひもや新聞紙で肉付けし、水で濡らして乾くと固

まる石膏テープを貼って仕上げていきます。イルカ・クジラ・キリン・犬・猫などの動物、ダンサーやギタリストといった人物など、それぞれが思い思いに作品を完成させました。粘土で表現するのが困難な、細身で躍動感のある作品づくりは、石膏直付け技法ならではの、淀井作品の真骨頂ともいえるべきものです。「こんなに真剣になったことないほど夢中になった」「石膏テープはこれまで触ったことがなかったけれど、おもしろかった」といった声が聞かれました。



中学校の先生が 美術館で一日研修

7月29日(火)、梁瀬中学校の丸山恵梨教諭が、新任研修の一環として、あさご芸術の森美術館で実習を行いました。受付での接客、写真作品の整理など、様々な業務を一日体験。



「あさご芸術の森美術館は、豊かな自然に囲まれて、気持ちよく芸術鑑賞ができるという印象。淀井作品や浮世絵師展などを鑑賞しましたが、知識を得るほど、より面白い。豊かに生きる

ために、いろいろなことに触れたり知ること、興味を広げることの大切さを生徒に伝えたい」と話しました。

あさご芸術の森 アートフェスティバル2025夏

毎年夏のイベントとしてあさご芸術の森で開催しているワークショップ。今年もアクセサリ作り、木工クラフト、工作、絵画のワークショップをギャラリー四季彩で行いました。

7月26日(土)には、アクセサリ作家の山木さとみさんの指導で、イヤリング・ブローチ・キーホルダー・ストラップなど、さまざまなパーツを選んで、オリジナルのアクセサリ作りを行いました。親子で仲良く制作する姿も見られました。



8月3日(日)には、木工作家の坂本収さんが、小中学生を対象に木工クラフト制作を指導。こどもたちは、様々な形や種類の木材を使って、糸鋸で裁断したり釘を打ち付けたりしながら、思い思いにインテリア小物や収納用具などを完成させていきました。

8月9日(土)には、子どもたちが、画家のコウノ真理さんとガラス作家の埴田麻里さんからアドバイスを受けながら、発泡スチロールを使った作品づくりを行いました。テーマは動物。ヒートカッターで成形し、装飾や色付けもしながら、愛らしい動物を完成させていきました。

8月10日(日)と11日(月・祝)には、平面造形作家の椿野浩二さんと、画家の椿野彩さんが講師を務め、子どもたちが、水彩画制作に取り組みました。構図、色の合わせ方や筆使いなどのアドバイスや実演による指導を受けなが

ら、絵を完成させていきました。

子どもたちにとっては、夏休みの宿題の制作機会にもなっていて、毎年多くの参加があります。



3つの公演で盛り上がった 豊岡演劇祭in朝来

「豊岡演劇祭2025」の最終日となる9月23日(火)、あさご芸術の森美術館ではフリンジ公演を行いました。

昨年に引き続いての開催で、今回はスタチューパフォーマンス協会による「生きている彫刻」、んまつーポスによるワークショップ『トル・トラレル』とパフォーマンス『いっすんぼうし』、原田大二郎×佐藤正治による『朗読とパーカッションの新世界～但馬の旅～』の3チームがそれぞれ美術館の内外で上演しました。

生きている彫刻は、彫刻に扮装した人物が館内の彫刻に紛れ、「静止」とパントマイムのような「動作」を通して、見る人に驚きや面白さを伝えていました。



んまつーポスのワークショップでは、参加した小学生たちが、ジャンプしながらポーズを決めて被写体になったり、カメラを構えてジャンプの瞬間を切りとる撮影体験をしました。

原田さんによる朗読は宮沢賢治作「永訣の朝」と「注文の多い料理店」。

迫力ある切れの良い朗読に佐藤さんの絶妙なパーカッションの音が乗せられて、それぞれ宮沢賢治の世界に引き込まれていきました。

この日の来場者は500人。多くの参加で大いに盛り上がった一日でした。



芸術の森を撮る！ 織作峰子写真教室

朝来市市制施行20周年記念事業として、観光大使の写真家・織作峰子さんの指導による写真教室を、10月5日(日)、あさご芸術の森美術館で行いました。

織作さんから構図や光の取り込み方などのアドバイスを受けながら、野外彫刻や風景などを自分の感性で撮影していきました。

参加者の写真作品は、11月16日(日)に和田山ジュピターホールで行われた記念式典会場に、織作さんの作品とともに展示、出席者の皆さんにご覧いただきました。(8頁に一部紹介)



仮装と風と光の饗宴 風と光のページェント

今年もあさご芸術の森周辺を会場に、「風と光のページェント」を10月18日(土)と19日(日)の二夜連続で開催しました。このイベントには、市内こども

園・小学校11校園の359人がキャンドル絵の制作に協力してくれました。

芸術文化観光専門職大学の学生たちが、橋・船・プロセニウムアーチなどキャンドルを飾る大型の装置を制作設営。学生ダンサーたちが野外彫刻やこれらの装置を舞台にして会場のこどもたちと物語を絡めながらパレードしました。館内ではキャンドルグラスデコレーションワークショップ、館内外ではナゾ解きミッションスタンブラリーを実施。

美術館友の会からは彫刻家の藤本イサムさんと平面造形作家の椿野浩二さんが、風と光をテーマにした作品を設置したほか、ガラス工芸作家の畠田麻里さん制作によるガラスのキャンドルホルダーが飾られ、会場を一層きらびやかに彩っていました。

18日は開始してまもなく雨に降られ、屋内を中心にしたイベントとなてしまいましたが、19日は薄曇りの天気ながら、屋外パレードも実施でき、大いに盛り上がりしました。



あさご芸術の森 アートマーケット2025

「あさご芸術の森アートマーケット」を11月15日(土)、美術館彫刻庭園で開催しました。小春日和となった当日は、様々なジャンルの手作り作品が並び芸術市や制作ワークショップ、うまいもんブースでの食の提供のほか、ウッドデッキではダンスショーやクイズに正解すると空からお菓子が降ってくる「晴れ時々アメ」など盛りだくさんな催しで、来場者、出店者、出演者の皆さんとともに、芸術の秋の一日を楽しんでいただきました。

スケジュール 2025.12 → 2026.3

Schedule

月	日	曜	内 容	対 象	期間・時間など	掲載ページ
12	開催中		アート2026千支展「午」	一 般	1月12日まで	4
			2026千支絵手紙コンクール作品展			
			書・上地拝碩作品展～早春によせて～			
1	15	木	2026千支絵手紙コンクール 生野メインホール巡回展(入賞入選作品のみ)	一 般	1月30日まで	5
	募集中		あさごの小さなフォトグラファー展2026 作品募集	小中高校生	1月31日まで	
			あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展 作品募集	会 員	2月2日まで	
	22	木	第21回あさご全国こども絵画展 巡回展(アートホール神戸)	一 般	1月27日まで	3
	24	土	～朝来からの風～朝展2026	一 般	3月1日まで	5
2	14	土	あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展	一 般	3月1日まで	
3	1	日	～朝来からの風～朝展2026 表彰式	受賞者	午後3時～	
	14	土	淀井彩子展 土地の名・土地の色・土地の時間	一 般	5月10日まで	5
			あさごの小さなフォトグラファー展2026			

あさご芸術の森美術館友の会 会員の近況

★磨野郁子

▶〈展示〉第13回全国公募西脇サムホール大賞展(入選)

会期…2025年11月8日(土)～12月7日(日)／会場…西脇市岡之山美術館

★参加作家(あさご芸術の森美術館友の会会員のみ掲載、順不同)

コウノ真理、佐々木博、竹内康行、椿野彩、椿野浩二、板原敏子、内藤絹子、長岡國人、藤本満里子、宇都宮遼

▶〈展示〉第38回チャリティーのためのミニアチュール展

会期…2025年12月6日(土)～21日(日)／会場…ルネッサンス・スクエア(姫路市)

「あさご芸術の森」～織作峰子写真教室参加者の作品から～①



©タカダシンスケ



©イジヒロコ



©ハヤシダマサノリ

【年末年始の美術館】

美術館は12月24日(水)から1月5日(月)まで休館します。2026年は1月6日(火)から開館します。



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113

http://www.city.asago.hyogo.jp/

E-mail: art-village@city.asago.lg.jp

